

平成 30 年度 事業報告書

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

学校法人 上野学園

平成 30 年度 事業報告書

I 法人の概要

設置する学校・学部・学科等

上野学園大学

音楽学部 音楽学科 器楽コース
 声楽コース
 グローバル教養コース
 演奏家コース
 音楽専攻科 音楽学専攻
 器楽専攻
 声楽専攻

上野学園大学短期大学部

音楽科
 専攻科 音楽専攻

上野学園高等学校

全日制 普通科 特別進学コース
 総合進学コース
 全日制 音楽科 演奏家コース
 器楽・声楽コース

上野学園中学校

アドヴァンスト・コース
 プロGRESS・コース

学校・学部・学科等の学生・生徒数（平成 30 年 5 月 1 日現在）

| 学校 | 学部・学科等 | 入学 定員 | 収容 定員 | 入学 者数 | 在籍 者数 |
|-------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 上野学園大学 | 音楽学部音楽学科 | 110 | 464 | 38 | 240 |
| 上野学園大学短期大学部 | 音楽科 | 50 | 100 | 30 | 74 |
| 上野学園高等学校 | 普通科 | 160 | 480 | 191 | 545 |
| | 音楽科 | | | 16 | 59 |
| 上野学園中学校 | | 80 | 240 | 32 | 103 |
| 合 計 | | 400 | 1,284 | 307 | 1021 |

役員等の概要（平成 30 年 6 月 21 日現在）

理事 6 名 石橋香苗（理事長）、ジャン＝フランソワ・ミニエ、松平恒和、高橋公三子、
江幡亜木、渡辺陽介
監事 3 名 鈴木達也、弘中絵里、杉浦勇二
評議員 13 名

教職員構成、人員数（平成 30 年 5 月 1 日現在）

| 教員／事務職員 | 専任 | 非常勤 | 合計 |
|-------------|-----|-----|-----|
| 上野学園大学 | 23 | 119 | 142 |
| 上野学園大学短期大学部 | 8 | 66 | 74 |
| 上野学園高等学校 | 54 | 35 | 89 |
| 上野学園中学校 | | | |
| 事務職員 | 37 | 13 | 50 |
| 合計 | 122 | 233 | 355 |

※学校基本調査に記載している人数に基づく。

上野学園の沿革

- 1904 年 11 月 建学の精神を「自覚」として、石橋藏五郎が私立上野女学校を創立
(下谷区上野桜木町 2 番地)
- 1910 年 9 月 財団法人私立上野高等女学校創設
- 1912 年 10 月 浅草区神吉町 46 番地（現台東区東上野 4 丁目）に移転
- 1914 年 11 月 私立上野実習女学校を、私立上野家政女学校に改称
- 1946 年 4 月 上野女子高等学院（文化科・家政科）を設置
上野高等女学校専攻科（英語科・被服科）を設置
財団法人上野学園に改称
上野高等女学校が東京都の音楽研究指定校となる
- 1947 年 4 月 上野学園中学校を設置（学校教育法実施により上野高等女学校および同専攻科は上野
学園中学校・上野学園高等学校に改組。高等学校は翌年に設置される）
- 1949 年 4 月 上野学園高等学校に全国初の音楽科を設置
上野学園高等学校別科を設置
- 1951 年 2 月 学校法人上野学園に変更
- 1952 年 4 月 上野学園短期大学を開学し、音楽科を設置
石橋益恵、学長に就任
上野女子高等学院を廃止
- 1956 年 4 月 短期大学家政科を設置（2006 年廃止）
- 1958 年 4 月 上野学園大学開学、音楽学部器楽学科・声楽学科・音楽教育学科を設置
石橋益恵、学長に就任
- 1959 年 3 月 短期大学音楽科を発展的に解消
- 1961 年 3 月 上野学園家政高等学院が上野学園草加高等学校に改組
- 1963 年 4 月 大学音楽学部器楽学科に日本初のチェンバロ専門、音楽教育学科に音楽学専門を開設

- 1963年10月 大学音楽学部、日本音楽史料の組織的収集に着手
- 1964年4月 石橋藏五郎逝去
同年6月に、石橋益恵、理事長に就任
- 1966年4月 大学音楽専攻科（音楽教育専攻・器楽専攻・声楽専攻）を設置
短期大学音楽科を再設置（埼玉県草加市）
- 1968年4月 短期大学専攻科（音楽専攻）を設置
- 1969年4月 大学音楽学部器楽学科に日本初のリュート、ヴィオラ・ダ・ガンバ、リコーダーの各専門を開設
- 1970年4月 大学音楽専攻科の音楽教育専攻を音楽学専攻に改称
- 1971年4月 大学音楽学部器楽学科に日本初のギター専門を開設
- 1973年4月 研究施設、上野学園日本音楽資料室を創設
- 1974年11月 創立70周年記念講堂（石橋メモリアルホール）竣工
- 1981年4月 石橋益恵、学園長に就任
石橋裕、上野学園大学および上野学園短期大学長に就任
- 1985年4月 短期大学家政科を草加キャンパスに移転、短期大学を集約し、名称を上野学園大学短期大学部に改称
短期大学部人文学科（英語専攻・文化専攻）を設置
- 1992年2月 石橋益恵逝去
同年3月に石橋裕、理事長に就任
- 1995年4月 短期大学部人文学科を大学国際文化学科に改組転換、英語と英国・アイルランド文化コース、スペイン語とイベリア、ラテン・アメリカ文化コース設置
- 2000年4月 短期大学部音楽科に音楽療法士養成教育課程を開講
- 2004年4月 上野学園大学音楽・文化学部を設置（音楽学部と国際文化学科を統合）
音楽・文化学部音楽学科に演奏家課程を設置
- 2005年4月 大学演奏家課程を演奏家コースに改称
高等学校音楽科に演奏家コースと器楽・声楽コースを設置
大学音楽・文化学部国際文化学科、短期大学部音楽科、家政科、上野キャンパスへ移転
- 2006年10月 日本音楽資料室を上野学園大学日本音楽史研究所に改称
- 2007年4月 石橋裕、学園長に就任
石橋慶晴、理事長に就任
上野学園大学・同短期大学部、上野学園中学校・高等学校を男女共学化
高等学校普通科に特別進学コースと総合進学コースを設置
- 2007年9月 創立100周年記念事業として新校舎竣工
- 2007年10月 上野学園楽器展示室を開室し、上野学園所蔵の古楽器を公開
上野学園大学日本音楽史研究所を草加キャンパスに移転
- 2009年4月 原田禎夫、上野学園大学・同短期大学部学長代行に就任
- 2010年2月 新講堂（上野学園 石橋メモリアルホール）竣工
- 2010年3月 大学音楽・文化学部国際文化学科廃止
- 2010年4月 大学音楽・文化学部を音楽学部へ改称
上野学園大学日本音楽史研究所が大学附置研究所となる

| | |
|-----------|---|
| | 高等学校普通科に特別進学コース $\alpha \cdot \beta$ を設置 |
| 2010年 5月 | 音楽文化研究センターを大学音楽学部の附属機関として設置 |
| 2011年 4月 | 石橋裕、上野学園大学名誉学長の称号を授与される 前田昭雄、上野学園大学学長に就任 |
| 2014年 9月 | 石橋慶晴、上野学園大学短期大学部学長に就任 |
| 2014年 11月 | 創立 110 周年記念式典挙行 |
| 2015年 4月 | ミュージック・リサーチ・コースをグローバル教養コースに改称 グローバル教養コースに文化創造マネジメント専門を開設 船山信子、上野学園大学学長に就任 中学校音楽コース、普通コースをアドヴァンスト・コースとプロGRESS・コースに改編 高橋公三子、上野学園中学校・高等学校校長に就任 |
| 2015年 12月 | 上野学園大学日本音楽史研究所を上野キャンパスに移転 |
| 2016年 4月 | 上野学園高等学校との連携プログラムを施行 |
| 2016年 6月 | 石橋香苗、学校法人上野学園理事長に就任 |
| 2017年 1月 | 石橋裕学園長逝去 |
| 2017年 4月 | 皆川弘至、上野学園大学学長に就任 石橋香苗、上野学園大学短期大学部学長に就任 |

II 事業の概要

<法人の事業>

1) 学園全体に係わる主な事業の概要、進捗状況

① 理事会の刷新

平成30年は役員の変更期に当たっており、理事会での議論をさらに活発かつ充実させるため、6月に役員変更を行った。

② 監査体制の強化

監査の質的向上を図るため、監事を2名から3名体制とした。

③ 学生募集の組織体制の見直し

平成30年5月の事務組織改編により、入試広報部に「学生募集課」と「入試広報課」を置き、大学学長直轄のもと、学生募集対策を推進した。経年課題としている特に大学・短大における学生募集の強化については、

- ・学長及び学生募集強化委員会が主導し、入試広報部と連携して、募集強化を行った。
- ・学生募集強化委員会を月2回実施し、日々の学生募集数値を確認しながら、新たな戦略と戦術を構築し実行した。

2) 入学定員の見直し

上野学園大学（入学定員 110 人）は、定員割れが継続しており、平成 31 度から上野学園大学の 3 年次編入学定員数（12 人）を無くすこととした。これにより、平成 31 年度の収容定員は現行の 464 人から 452 人となった。ただし、上野学園大学短期大学部の学生を含め、編入を希望する者は少なからず存在することから、編入学制度は継続する。

3) ハラスメント防止のためのワーキンググループによる協議

学内におけるハラスメント防止のための枠組みを策定するため、ワーキンググループを組織した。中学・高校・短大・大学における学生・生徒、教職員間で起こり得るケースを想定した対応ルートを検討した。引き続き、ハラスメント防止に係る規程の作成を含め、組織として、より客観的な判断に臨めるような体制づくりを行っていく。

4) 防災対策

消防法による消防計画に基づき5月、9月に防災防火消防訓練を実施。また、点検資格者による法定点検を2回実施し、不備のないように対応した。

5) 情報発信力の強化

平成30年度は、特にホームページ改善することで、情報発信力を強化した。具体的には、リスティング広告を導入し、サイトへの訪問数を増やした。また、チャットボット（自動会話プログラム）を導入し、対話やメッセージのやりとりを行ったり、MA（マーケティングオートメーションシステム）を導入し、マーケティングの自動化とワンツーマーケティングを実現したことにより、資料請求やオープンキャンパス、体験レッスンへの申込数の増加を図った。

高校訪問は、平成29年度は年間で546校に訪問したが、平成30年度は年間で379校に留まった。オープンキャンパスは、例年どおり7回実施。内容を再検討し、受験生が本学に興味を抱くような魅力的なプログラムを構築し、実施した。

広報刊行物としては、上野学園全般の広報強化、また、入試広報とは別に、学園の指針、フレッシュな学園全体の情報などを発信するため、平成30年4月に広報誌『上野』を創刊した。今後も定期的に刊行を実施する予定である。

[表1 平成30年度 資料請求者数の前年度との比較]

| | H30 | 1月迄 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 |
|----------|------|-------|-----|-----|-----|--------|-------|-------|--------|
| 総 反応数 | 2018 | 6,878 | 305 | 787 | 755 | 954 | 1,105 | 1,021 | 503 |
| | 2017 | 4,753 | 367 | 561 | 528 | 1,013 | 1,328 | 917 | 609 |
| 高3 | 2018 | 4,262 | 141 | 251 | 230 | 223 | 232 | 215 | 99 |
| | 2017 | 3,009 | 187 | 240 | 166 | 356 | 287 | 189 | 134 |
| 高2 | 2018 | 2,451 | 157 | 506 | 318 | 326 | 386 | 418 | 162 |
| | 2017 | 1,607 | 176 | 239 | 191 | 333 | 414 | 344 | 202 |
| 高1 | 2018 | — | — | — | 173 | 354 | 442 | 340 | 185 |
| | 2017 | — | — | — | 128 | 276 | 526 | 330 | 238 |
| | | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | H31.1月 | 2月 | 3月 | 総計 |
| 総 反応数 | 2018 | 286 | 399 | 335 | 325 | 349 | 317 | 192 | 14,511 |
| | 2017 | 489 | 627 | 497 | 436 | 405 | 347 | 821 | 13,698 |
| 高3 | 2018 | 50 | 41 | 41 | 28 | 19 | 13 | 6 | 5,851 |
| | 2017 | 143 | 104 | 67 | 55 | 30 | 17 | 24 | 5,008 |
| 高2 | 2018 | 120 | 98 | 115 | 104 | 152 | 93 | 59 | 5,465 |
| | 2017 | 182 | 201 | 169 | 160 | 217 | 144 | 250 | 4,829 |

| | | | | | | | | | |
|----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 高1 | 2018 | 92 | 239 | 141 | 169 | 150 | 190 | 109 | 2584 |
| | 2017 | 126 | 287 | 229 | 187 | 133 | 161 | 501 | 3,122 |

平成30年度は、平成29年度に比べ、総反応数で約1.06倍になった。

[表2 平成30年度オープンキャンパス参加者数の前年度との比較：()内平成29年度値]

| | 開催日 | 全体 | | 3年・既卒 | | 1・2年 | | 保護者他 | | 体験レッスン受講者数 | | | |
|---|----------|-----|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|------------|-------|----|------|
| | | | () | | () | | () | | () | 大学 | | 短大 | |
| 1 | 3/25 (日) | 88 | (105) | 35 | (38) | 8 | (14) | 45 | (53) | 15 | (13) | 3 | (10) |
| 2 | 4/29 (日) | 104 | (86) | 53 | (34) | 9 | (16) | 42 | (36) | 16 | (16) | 10 | (9) |
| 3 | 6/17 (日) | 92 | (72) | 45 | (25) | 11 | (15) | 36 | (32) | 15 | (10) | 10 | (7) |
| 4 | 7/29 (日) | 102 | (145) | 21 | (25) | 47 | (58) | 34 | (62) | 12 | (13) | 11 | (11) |
| 5 | 8/26 (日) | 222 | (262) | 33 | (32) | 106 | (139) | 83 | (93) | 20 | (24) | 14 | (11) |
| 6 | 10/7 (日) | 109 | (63) | 35 | (18) | 29 | (18) | 45 | (27) | 9 | (15) | 11 | (7) |
| 7 | 11/25(日) | 61 | (75) | 17 | (16) | 20 | (27) | 24 | (32) | 4 | (12) | 8 | (3) |
| 計 | | 778 | (810) | 239 | (188) | 229 | (287) | 309 | (335) | 91 | (103) | 67 | (58) |

平成30年度は、平成29年度に比べ、来場者全体数で約4%減。本学教員を通じて、受験者獲得に繋がる確率が高くなる体験レッスン受講者数は、大学で12%減、短大は16%増。

6) 法人主催のイベント、演奏会等

- ・「第30回上野学園—ゴードンストーン英語コンテスト」の実施

平成31年1月13日 (日) 於：第一リハーサル室

60名を超える応募者の中から9名が最終コンテストに出場し、次の結果となった。

優 勝：森谷頼安 (東京都 暁星小学校)

準優勝：中山美怜 (山梨県 山梨英和中学校)

スコットランドのハイランド地方にある名門パブリックスクール、ゴードンストーン・スクールと上野学園との深い交流から始まった「ゴードンストーン英語コンテスト」は開催30回目を数える。受賞者2名は、ゴードンストーン・インターナショナル サマースクールに1ヶ月参加する資格を与えられた。

審査員：石橋香苗 学校法人上野学園理事長、クレア・マックギリヴレイ ゴードンストーン・インターナショナル・サマースクール校長、松平恒和 学校法人上野学園理事、ティモシイ・ハリス 元上野学園大学准教授

- ・平成30年度に、法人主催で実施した演奏会は次のとおり。

| 日付 | 内容 | 場所 |
|------------|--|------------|
| 9月15日 (土) | 第21回「石橋益恵ピアノ奨学金」受賞記念 演奏会：深貝理紗子ピアノ・リサイタル | 石橋メモリアルホール |
| 12月22日 (土) | 歳末たすけあい運動 上野学園 第59回 慈善演奏会 | 石橋メモリアルホール |
| 2月28日 (木) | 第26回石橋益恵先生記念コンサート | 石橋メモリアルホール |

7) 音楽教室

平成30年度音楽教室で実施した発表会は下記のとおり。また、平成28年度にホームページを開設したことにより、本年度においても「受験コース」「一般コース」「研究コース」への問い合わせ件数が増加し、効果を上げている。

「KIDS ミュージックスクール」においては、平成29年6月に開設した2歳児クラスが、順調に生徒数を増やしている。

平成30年度 音楽教室発表会等

| 日付 | 発表会等 | 会場 |
|-----------|-------------------------------|----------|
| 12月22日(土) | KIDS ミュージックスクール クリスマスコンサート | 第1リハーサル室 |
| 1月12日(土) | 受験コース発表会 | 第1リハーサル室 |
| 4月20日(土) | 一般コース、研究コース発表会 | 第1リハーサル室 |

※音楽教室は、次年度4月までを年度とする。

8) 財務基盤の改善

18歳人口が減少傾向する中での学生確保の問題、経常費補助の減少傾向等、大学及び短期大学を取り巻く経営環境は非常に厳しく、大学の収支構造の改善、及び本学園全体の運営方法の合理化と効率化なくしては本学園の財務基盤の健全化は達成できないため、財政改善の推進は学園にとって最重要課題という強い認識のもと、下記のような取り組みを実施した。

① 遊休資産の売却

草加市に郊外型学園として使用していた校地・校舎を売却した。

② 竹内ビルの賃貸契約解除

上野学園校舎棟の近隣にある竹内ビルのワンフロアを、教員研究室として賃貸契約の下で使用していたが、契約を解除し、本学園校舎棟に研究室を移転した。

③ 施設の有効活用による収入増検討

学園の石橋メモリアルホール、エオリアンホールは学園の授業及び公式行事に使用しない空き時間を明確にして、より多くの人に、学術、教育、及び文化の健全な発展に寄与する会場として有効利用して頂き、施設利用料としての収入増加になるような施策の検討を行った。

また、レッスン室等にIOT(インターネット・オブ・シングス)センサーを設置し、施設利用状況を可視化した。予約状況だけでは見えなかった使用状況を把握でき、また竹内ビル移転に際しては、研究室の移動等についてもその成果を活かすことができた。引き続き、今後施設の有効利用にもデータを活用していく。

④ 事務業務のIT化による効率化

以下により、事務職員の作業時間減少の一助となった。

- ・定型業務の一部をRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)で自動化した。
- ・リモートワーク型のオンラインアシスタントを利用できるようにした。
- ・将来的にAIシステムを整備し、人件費を削減するため、BI(ビジネスインテリジェンス)を導入して、複数のシステムを横断した複雑なデータを分析した。

⑤ コスト意識の更なる強化

平成 29 年度に引き続き、次年度予算作成に向けて、各種経費について全てを対象に、改めて金額、是非の協議を行った。理事、学長、教員、職員のコスト意識を強化し、支出内容の精査・承認ステップの改善を図り、経費削減による収支改善の努力をした。

9) 上野学園 石橋メモリアルホール主催・共催・協力の演奏会

本年度、上野学園 石橋メモリアルホールで開催された公演は下記のとおり。

[平成 30 年度 上野学園 石橋メモリアルホール主催・共催演奏会一覧]

| | 区分 | 開催日 | 公演名 |
|----|----|----------------------|--|
| 1 | 協力 | 4月1日 | 東京・春・音楽祭ー東京のオペラの森 2018ー 副島 理沙 オーボエ・リサイタル ～第 11 回 国際オーボエコンクール・軽井沢 奨励賞受賞記念 |
| 2 | 協力 | 4月9日 | 東京・春・音楽祭ー東京のオペラの森 2018ー ウェールズ弦楽四重奏団 ～宮田 大(チェロ)を迎えて |
| 3 | 主催 | 4月18日 | ランチタイムコンサート vol.86 弦楽四重奏の愉しみ |
| 4 | 共催 | 4月30日 | ベーテン音楽協会 第 11 回ベーテン楽コンクール受賞記念演奏会 |
| 5 | 協力 | 5月5日 | 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 PTNA 上野コンチェルト地区ステップ |
| 6 | 主催 | 5月23日 | ランチタイムコンサート vol.87 ヴァイオリンとピアノによる 〈世界紀行〉 |
| 7 | 共催 | 5月26日～31日 6月1日～3日 | ヴィオラスペース 2018 vol.27 第 4 回東京国際ヴィオラコンクール |
| 8 | 協力 | 6月23日 | 日本音楽審議会 2018 アジア国際音楽コンクール |
| 9 | 主催 | 6月27日 | ランチタイムコンサート vol.88 演奏家コース学生による演奏会 |
| 10 | 主催 | 7月25日 | ランチタイムコンサート vol.89 フルートで楽しむ四季折々の日本の名曲 |
| 11 | 協力 | 8月1日～4日 | 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 第 42 回ピティナ・ピアノコンペティション地区本選 |
| 12 | 協力 | 8月5日 | 大阪国際音楽振興会 第 19 回大阪国際音楽コンクール東京地区本選 |
| 13 | 協力 | 8月19日 | PTNA 千葉白井「音楽の和」ステーションサマーコンサート |
| 14 | 主催 | 9月12日 | ランチタイムコンサート vol.90 フルート・アンサンブル |
| 15 | 共催 | 10月6日 | 上野学園・古楽 21 世紀シリーズIV 上村かおり 無伴奏リサイタル～ヴィオラ・ダ・ガンバ ソロ～ |
| 16 | 主催 | 10月10日 | ランチタイムコンサート vol.91 ヴァイオリンとピアノによる調べ |
| 17 | 共催 | 10月13日 | オーケストラ・リベラ・クラシカ 第 42 回定期演奏会 |
| 18 | 主催 | 11月7日 | ランチタイムコンサート vol.92 古楽月間 古楽への誘い XI |

| | | | |
|----|----|------------|---|
| 19 | 共催 | 11月25日 | 第19回スガナミピアノコンクールファイナル |
| 20 | 主催 | 12月12日 | ランチタイムコンサート vol.93 2台ピアノによる「くるみ割り人形」 |
| 21 | 主催 | 12月19日 | ランチタイムコンサート vol.94 子どもたちと楽しむクリスマス |
| 22 | 共催 | 12月23日～24日 | ベートン音楽協会 第12回ベートン音楽コンクール全国大会 |
| 23 | 主催 | 1月16日 | ランチタイムコンサート vol.95 オルガン演奏会 |
| 24 | 主催 | 2月6日 | ランチタイムコンサート vol.96 学生による企画シリーズ |
| 25 | 協力 | 2月9日・11日 | 株式会社東音企画 第9回日本バッハコンクール全国大会 |
| 26 | 共催 | 2月24日 | プロジェクトQ・第16章～若いクアルテット、 バルトークに挑戦する 本公演 |
| 27 | 共催 | 3月10日 | ベートン音楽協会 第12回ベートン音楽コンクール 受賞者記念演奏会 |
| 28 | 主催 | 3月13日 | ランチタイムコンサート vol.97 演奏家コース学生による演奏会 |
| 29 | 協力 | 3月19日 | 東京・春・音楽祭 ストラヴィンスキーと《踊り》 ～室内楽による「バレエ・リュス」 |
| 30 | 協力 | 3月21日 | 東京・春・音楽祭 シェーンベルクー20世紀に翻弄された巨人 ～偉大な作曲家の軌跡をたどって 〈日本・オーストリア国交樹立150周年記念〉 |
| 31 | 協力 | 3月25日 | 東京・春・音楽祭 2019 吉井瑞穂(オーボエ)&鈴木大介(ギター) ～300年を経たロマンティックな調べ |
| 32 | 協力 | 3月27日 | 東京・春・音楽祭 2019 ヴェリタス弦楽四重奏団 ～岩崎潤(ヴァイオリン)、島田真千子(ヴァイオリン)、 小倉幸子(ヴィオラ)、工藤すみれ(チェロ) |

<大学・短期大学の事業>

1) GPA制度の本格運用(大学・短期大学部)

単位認定にあたり、学習到達度を測る尺度としてGPA(Grade Point Average)を本格的に用い、卒業判定時の総代・表彰者候補者及び卒業要件を満たさない学生の抽出に利用した。

成績評価のGPは、A+=4.0、A=3.5、B+=3.0、B=2.5、B-=2.0、C=1.0、D=0、E=0、*=0とした。『学生のためのハンドブック(学生便覧)2018年度版』に掲載し、学生に周知している。

初の運用となった平成30年度前期試験の前に、A評価を与える基準に教員間のばらつきがないように、主任会議及び教授会で以下のように申し合わせた。

- ・実技レッスン科目は絶対評価とする。
- ・講義科目では相対評価を部分的に取り入れ、A評価は当該授業科目の履修人数に対し35%内に留める(A+評価はその内の5%以内とする)。ただし、履修者人数が少数の(10名未満)授業科目を除く。
- ・能力別クラス分け科目における評価配分は統合した人数で行う。

- ・再試験（不合格後の2回目の試験）における評価はCとする。
厳格な成績評価により、GPAの精度を高めることが狙いである。

2) 専門実技レッスン実施回数の管理（大学・短期大学部）

年間のレッスン回数と単位授与の関係性、すなわち教育の質保証を明白にする観点から、「実技履修記録票」の様式及び運用を見直した。

様式)

- ・冊子にして専門実技と副科実技をひとまとめとする。
- ・複数教員制のレッスンは、教員1名につき1頁に記載し、当該教員のレッスン回数を明確にする。
- ・「室内楽」等のレッスン形態をとるクラス授業も実態を反映させる。

運用)

- ・前期末と後期末の年間2回から、毎月末（授業がある月）の提出とする。

平成30年度全学生に適用し、実技レッスンが不足している状況が確認された際には、学部長／学科長、当該指導教員が所属する部会主任が、教員への注意・勧告を行った。平成31年度に向けて、各回のレッスン時間（正味）を書き込める欄を追加し、今後も、修学環境保護の面で学生を手厚くケアしていく。

3) カリキュラムの変更（大学・短期大学部）

大学>

古楽部門の再編成の検討に着手した。まずは、古楽専門生でなければ履修できない「古楽合奏」を全専門の選択科目として開放する（平成31年度入学生のカリキュラムに反映する）。

短期大学部>

教育実習に備えてピアノ修練を積む必要が求められたため、副科ピアノの授業時間を倍にして、一人当たり週20分を半期15回とした。

4) 長期履修学生制度（短期大学部）

平成27年度に開設した「長期履修学生制度」は、平成28年度に初めての入学生があり、以降、一定数の入学生を得ている。

| 年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 長期履修学生（人） | 4 | 2 | 6 |
| 入学者数における割合（%） | 9.3 | 6.6 | 14.3 |

家庭や仕事と学業の両立を図るために履修上の助言を行っている。3年間の修業年限に専門実技の技術が途切れないように、場合によっては音楽教室の受講を薦める等、適切な修学環境を提供している。

今後もこの制度を利用した社会人の受け入れを積極的に実施していく。

5) オフィスアワーの確実な実施（大学・短期大学部）

オフィスアワーは従前から設定されていたが、その告知方法、学生の申込手段、面会場所を一元的に管理し、確実な実施が徹底された。学生支援の実践の場として、更なる積極的な活用が推進される。

6) 演奏活動（大学・短期大学部）

平成30年度に実施した大学および短期大学部主催・参加の演奏会は下記の通りである。

主催公演は台東区の後援名義を得て、台東区内の周知を強化し、開かれた大学の姿を地域に示している。地元上野をはじめとした地域からのイベント出演要請も多数寄せられ、地域の文化活動の発展に寄与すると同時に、地域が抱える課題の解決に学生が主体的に関わる機会となっている。

〔平成30年度上野学園大学・同短期大学部主催・参加演奏会（一部ホール主催公演と重複）〕

| 日付 | 演奏会 | 会場 |
|-------------|---------------------------------|-----------------|
| 4月26日（水） | 古楽研究室 昼の演奏会 | 上野学園 エオリアンホール |
| 5月8日（火） | 古楽研究室 昼の演奏会 | 上野学園 エオリアンホール |
| 5月19日（土） | 春の演奏会 2018 | 上野学園 講堂 |
| 5月20日（日） | かはくミュージアム・コンサート | 国立科学博物館 中庭 |
| 6月8日（金） | 古楽研究室 昼の演奏会 | 上野学園 エオリアンホール |
| 6月16日（土） | 一葉館ギャラリー・コンサート | 一葉記念館ギャラリー |
| 6月20日（水） | 演奏家コース サマー・コンサート | 上野学園 講堂 |
| 6月27日（水） | ランチタイム・コンサート〈演奏家コース学生演奏会〉 | 上野学園 講堂 |
| 7月4日（水） | 古楽研究室 昼の演奏会 | 上野学園 エオリアンホール |
| 7月6日（金） | 古楽研究室 昼の演奏会 | 上野学園 エオリアンホール |
| 9月8日（土） | ウィンド・アンサンブル発表会 | 上野学園 講堂 |
| 9月28日（金） | 上野学園古楽器コレクションミュージアム・コンサート | 上野学園 講堂 |
| 9月29日（土） | 上野学園大学若き演奏家たちによる〈音楽の庭〉Vol.7 | 旧岩崎邸庭園 |
| 10月3日（水） | 芸劇&読響 マーラー千人 首都圏音大コーラス | 東京芸術劇場 |
| 10月20日（土） | 演奏家コース オータム・コンサート | 上野学園 講堂 |
| 10月27日（土） | 第31回 短期大学部定期演奏会 | 上野学園 講堂 |
| 11月7日（水） | 北とぴあ国際音楽祭 2018 ロビーコンサート | 北とぴあ 1階区民プラザ |
| 11月11日（日） | 北とぴあ国際音楽祭 2018 ロビーコンサート | 北とぴあ 1階区民プラザ |
| 11月16日（金） | 第7回 合唱定期演奏会 | 上野学園 講堂 |
| 11月23日（金・祝） | 北とぴあ国際音楽祭 2018 ロビーコンサート | 北とぴあ 1階区民プラザ |
| 11月24日（土） | 第67回 オーケストラ定期演奏会 | 上野学園 講堂 |
| 11月25日（日） | 第9回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル 2018 | 東京芸術劇場 |
| 11月28日（水） | レインボウ 21 サントリーホールデビューコンサート 2018 | サントリーホール ブルーローズ |
| 11月29日（木） | 上野学園大学による午後のコンサート・シリーズ 21 | 台東区立旧東京音楽学校奏楽堂 |

| | | |
|-----------------|---|--------------------|
| 12月1日(日) | 西郷隆盛生誕祭 | 上野公園 西郷隆盛銅像前 |
| 12月5日(水) | 演奏家コース ウィンター・コンサート | 上野学園 講堂 |
| 12月11日(火) | 台東保健所 世界エイズデー街頭キャンペーン | JR 上野駅 |
| 12月16日(日) | 国立科学博物館 ウィンター・コンサート | 国立科学博物館日本館 1階中央ホール |
| 12月22日(土) | 歳末助け合い運動 第59回 慈善演奏会 | 上野学園 講堂 |
| 1月31日(木) | 上野学園大学による午後のコンサート・シリーズ 22「卒業年次生による新春の演奏会」 | 台東区立旧東京音楽学校奏楽堂 |
| 2月6日(水) | ランチタイム・コンサート〈学生企画シリーズ〉 | 上野学園 講堂 |
| 2月15日(金) | 演奏家コース 協奏曲演奏会 | 上野学園 講堂 |
| 2月21日(木) | 第6回 ウィンド・アンサンブル定期演奏会 | 上野学園 講堂 |
| 2月23日(土) | 平成30年度 短期大学部音楽科卒業演奏会 | 上野学園 講堂 |
| 2月25日(月) | 古楽研究室演奏会 | 上野学園 講堂 |
| 3月2日(土) | 演奏家コース スプリング・コンサート | 上野学園 講堂 |
| 3月9日(土) | 平成30年度 大学音楽学部卒業演奏会 | 上野学園 講堂 |
| 3月13日(水) | ランチタイム・コンサート〈演奏家コース学生演奏会〉 | 上野学園 講堂 |
| 3月30日(土)・31日(日) | 第8回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ演奏会 | 東京芸術劇場 ミューザ川崎 |

特筆すべきは、恒例の「音楽大学オーケストラ・フェスティバル」・「音楽大学フェスティバル・オーケストラ」への参加である。他音楽大学との交流を図り、上野学園大学管弦楽団の音楽的・技術的質の向上を推進した。学生にとって、学外のコンサートホールでの演奏、他音大学生との共演は大きな刺激となり、主催公演のオーケストラ定期演奏会や協奏曲演奏会での取組に反映されている。

また、学生数が多い管楽器では、ウィンド・アンサンブル定期演奏会において、外部から指揮者を毎年度招へいし、学生に色々な指揮者による指導を体験させている。吹奏楽部に力をいれている高校を招待する等、学生募集の一翼を担う演奏会でもあり、9月のウィンド・アンサンブル発表会や入試広報部が主宰する管・打楽器クリニックとも連携している。

声楽においては、前述の「音楽大学オーケストラ・フェスティバル」で築いた人脈を足がかりに、マーラー「千人の交響曲」に大学・短期大学部の学生有志が合唱で出演し、プロオーケストラとの共演という貴重な機会を得ることができた。

7) ボランティア活動の拡大(大学・短期大学部)

生の演奏に触れる機会の少ない人々を対象にした出張演奏会「上野学園ハートフル・コンサート」を、平成21年度後期から開催している。近隣の病院及び保健所と協定書を交わし、地域と密に関わっている。

また、平成25年度から行っている東北福祉大学と協働でのボランティア活動も、定着した。

[平成30年度 上野学園 ハートフル・コンサート]

| 日付 | 内容 | 会場 |
|----------------------|--------------------|-----------------------|
| 4月29日(日・祝) | 大学と短期大学部の学生による出張演奏 | ボランティアフェスティバル(台東区) |
| 6月23日(土) | | 永寿総合病院(台東区) |
| 9月16日(土) | | 永寿総合病院(台東区) |
| 12月15日(土)・ 16日(日) | | 東北福祉大学協働(宮城県仙台市、東松島市) |
| 12月8日(土) | | 永寿総合病院(台東区) |
| 12月25日(火) | | 台東保健所(台東区) |
| 3月1日(金) | | 台東保健所(台東区) |
| 3月10日(日) | | 東北福祉大学協働(江東区・そなエリア東京) |

平成30年度は、新たに台東区内小中学校での吹奏楽部・合唱部の早朝練習や休日・放課後練習等の、当該校の要望に合う学生を派遣する取組に着手した。音楽授業支援及び発達障害を抱える児童・生徒への教育支援にも手を広げ、教員志望者にとって動機付けの機会となった。

[平成30年度 台東区への音楽ボランティア]

| 学校名 | 内容 | 参加人数 | 参加時期 | 参加回数 |
|--------|----------------|------|------|------|
| 上野小学校 | トロンボーンパート指導 | 1名 | 前期 | 2回 |
| | トロンボーンパート指導 | 1名 | 後期 | 6回 |
| | 全体指導、トランペット指導 | 1名 | 後期 | 6回 |
| | 全体指導、ユーフォニアム指導 | 1名 | 後期 | 4回 |
| 東泉小学校 | オーケストラアンサンブル指導 | 1名 | 前期 | 2回 |
| 谷中小学校 | ブラスバンド早朝練習補助 | 1名 | 前期 | 10回 |
| | ブラスバンド指導補助 | 1名 | 前期 | 14回 |
| | ブラスバンド指導補助 | 1名 | 後期 | 13回 |
| | ブラスバンド早朝練習補助 | 1名 | 後期 | 25回 |
| 浅草小学校 | 吹奏楽オーボエパート指導 | 1名 | 前期 | 5回 |
| | 吹奏楽フルートパート指導 | 1名 | 前期 | 5回 |
| 東浅草小学校 | 音楽ボランティア | 1名 | 前期 | 11回 |
| | 音楽ボランティア | 1名 | 前期 | 7回 |
| | オーケストラ早朝練習支援 | 1名 | 後期 | 7回 |
| | 音楽授業支援 | 1名 | 後期 | 15回 |
| 富士小学校 | 吹奏楽部指導補助 | 7名 | 前期 | 16回 |
| | マーチング指導 | 1名 | 後期 | 12回 |
| | 吹奏楽部指導補助 | 1名 | 後期 | 13回 |
| 柏葉中学校 | 音楽授業合唱パート練習指導 | 2名 | 前期 | 4回 |
| 桜橋中学校 | 音楽ボランティア | 1名 | 前期 | 1回 |

[平成 30 年度 台東区「大学生が先生」]

| 学校名 | 内容 | 参加人数 |
|--------|----------|------|
| 東浅草小学校 | 学習アシスタント | 3名 |
| 忍岡中学校 | 学習アシスタント | 1名 |
| 桜橋中学校 | 学習アシスタント | 1名 |

[平成 30 年度 台東区「支援員」]

| 学校名 | 内容 | 参加人数 |
|-------|--------|------|
| 保育園 | 保育士支援 | 1名 |
| 東泉小学校 | 音楽授業支援 | 1名 |
| 谷中小学校 | 音楽授業支援 | 1名 |

8) 特別公開講座の実施 (大学)

平成30年度に実施した特別公開講座は下記の通り。

[平成 30 年度 特別公開講座]

| 日付 | テーマ/内容 | 講師/演奏者 | 専門 |
|-----------|---|------------------------------------|-----|
| 5月19日(土) | 春の演奏会 2018 | 中村拓紀非常勤講師指揮 上野学園大学合唱団 他 選出学生 | |
| 6月6日(水) | 東京オリンピック・パラリンピック「東京 2020 への参加の仕方(エンゲージメント)」 | 井上利彦氏 | |
| 6月27日(水) | 琴の音にふれる | 深海さとみ客員教授 | 箏 |
| 7月11日(水) | 室内楽公開レッスン シューマン/ヴァイオリン・ソナタ 第1番 第1楽章 他 | ジャン=ジャック・バレー氏 レッスン受講学生 | 室内楽 |
| 9月12日(水) | 能楽入門 | 藤井雅之氏 他 | 能楽 |
| 11月16日(金) | 第7回 合唱定期演奏会 | 中村拓紀非常勤講師指揮 上野学園大学合唱団 | |
| 11月24日(土) | 第67回 オーケストラ定期演奏会 | 清水醍輝非常勤講師指揮 上野学園大学管弦楽団 | |

9) 公開レッスン・その他の講座の実施 (大学)

平成 30 年度に実施した公開レッスン・その他の講座は下記の通り。

5月30日(水) 17:40~19:10 弦楽合奏公開レッスン
 講師：ハリオルフ・シュリヒティヒ氏 (ミュンヘン音楽大学ヴィオラ科・室内楽科教授)
 場所：第1リハーサル室
 受講曲：①エルガー：弦楽セレナード
 ②モーツァルト：ディヴェルティメント K138

| |
|---|
| <p>9月26日(水) 16:00~19:10 ピアノ公開レッスン 講師：シュテファン・アーノルド氏 (ウィーン国立音楽演劇大学 ピアノ科教授) 場所：第1リハーサル室 受講曲：①ハイドン：ピアノ・ソナタ 変ホ長調 Hob.XVI-52 ②ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第21番 ハ長調 作品53 第1楽章 ③ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第30番 ホ長調 作品109</p> |
| <p>10月10日(水) 16:00~19:10 フルート公開レッスン 講師：ポール・エドモンド=デイヴィス氏 (英国王立音楽院客員教授) 場所：第1リハーサル室 受講曲：①モーツァルト：協奏曲 ト長調 第1楽章 ②ボルン：カルメン幻想曲</p> |
| <p>10月17日(水) 17:0~19:00 ピアノ公開レッスン 講師：ジョルジュ・ナードル氏 (リスト音楽院教授) 場所：第1リハーサル室 受講曲：①リスト：メフィスト・ワルツ ②リスト：《詩的で宗教的な調べ》より第7曲《葬送》</p> |
| <p>2月26日(火) 13:30~16:30 ピアノ公開レッスン 講師：マティアス・キルシュネライト氏 (ロストック音楽大学教授) 場所：エオリアンホール 受講曲：①シューベルト：さすらい人幻想曲 D760 ②ショパン：ピアノ・ソナタ 第2番 作品35 第1・2楽章 ③メンデルスゾーン：厳格な変奏曲 作品54</p> |

1 0) FD活動(大学・短期大学部)

平成30年度に実施したFD活動は下記の通り。

①「上野学園・人と音・シリーズ」の開催

本学教員の研究と演奏の発表の場である。学生も聴講できる。

第1回 11月7日(水) 17:40~19:10 藤田彩歌(メゾ・ソプラノ)

「声とジェンダー ～奥深いズボン役の世界～」

第2回 1月9日(水) 17:40~19:10 長澤範和(サクソフォン)

「音楽と変性意識、読脳」

②FD研究会の開催

第1回 11月7日(水) 17:40~19:10 藤田彩歌(メゾ・ソプラノ)

「声とジェンダー ～奥深いズボン役の世界～」

※「上野学園・人と音・シリーズ」との共催

第2回 1月9日(水) 17:40~19:10 長澤範和(サクソフォン)

「音楽と変性意識、読脳」

※「上野学園・人と音・シリーズ」との共催

③「学生による授業評価アンケート」のウェブでの実施

従来の紙媒体での実施を改め、学生のスマートフォン等の端末から回答ができるようにした。これによりデータの即集計・分析が可能となった。アンケート回収率を向上させ、ひいてはFD

活動の実効性を高めていく。

内容については、従前通り、講義系、実技系の2つに分けて、結果を全教員にフィードバックしている。調査概要及び全体集計は、本学ホームページ上に公開している。また、平成29年度アンケートにおいて、FD委員会委員長（学長）が指名する教員に「授業改善計画書」を提出させ、学内者専用ホームページ上に掲載すると共に、図書館を含む学内の指定箇所に置き、閲覧可能とした。

このように、学生による授業評価アンケートはPDCAが完結しており、FD委員会では、設問内容の見直しを適宜行い、学生が評価し易いように工夫している。

1 1) IR 活動（大学・短期大学部）

IR委員会により、新入生アンケート及び卒業時アンケートの定期的な実施サイクルが、確立された。これらのアンケートは、過去にも単発で行ったことがあったが、平成29年度後期に実施方法を全学的に統一した。

入学時の期待度、卒業時の達成度を測り、FD委員会に報告し、学内で共有した。学生のキャリア支援、募集活動の資料にも役立てた。

1 2) 教員免許状更新講習の実施（大学・短期大学部）

平成21年度以来となる教員免許状更新講習を開催した。

8月18日（土）学習指導要領の改訂の動向と法令改正及び国の審議会の状況

| | | |
|-------------|---------------------|-------|
| 9:00～11:10 | 音楽科における主体的・対話的で深い学び | 内田有一 |
| 11:20～12:20 | 授業に生きる音楽史 | 甲斐万里子 |
| 13:20～14:20 | 教育の情報化 | 森田信一 |
| 14:30～15:30 | これからの道德教育 | 辻野具成 |
| 15:40～16:40 | 法令改正／教育史 | 林直美 |

8月19日（日）教育の最新事情と子ども理解に関する講習

| | | |
|-------------|-----------------------|-----------|
| 9:00～11:10 | 生活習慣の変化を踏まえた生徒指導・子供理解 | 谷川拓也・宮田正博 |
| 11:20～12:20 | 特別支援教育 | 廣瀬由美子 |
| 13:20～14:20 | 心理学 | 星野悦子 |
| 14:30～16:40 | 国の教育政策や世界の教育の動向他 | 臼井学 |

8月20日（月）新学習指導要領を踏まえた学校における箏の指導及び実技

| | | |
|-------------|----|-------|
| 9:00～12:20 | 実技 | 深海さとみ |
| 13:20～16:40 | 実技 | 深海さとみ |

8月21日（火）新学修指導要領を踏まえた学校における長唄及び長唄三味線の指導及び実技

| | | |
|-------------|----|-------|
| 9:00～12:20 | 実技 | 松浦奈々恵 |
| 13:20～16:40 | 実技 | 松浦奈々恵 |

8月22日（水）新学習指導要領を踏まえた音楽授業づくり

| | | |
|-------------|----------------------------------|------|
| 9:00～10:00 | 創作の授業づくり | 内田有一 |
| 10:10～11:10 | 楽器の分類法—音楽の素材としての音 | 三宅康弘 |
| 11:20～12:20 | 生活や社会の中の音楽 | 山内雅子 |
| 13:20～16:40 | 新学習指導要領の趣旨を踏まえたわが国や郷土の伝統音楽の授業づくり | 山内雅子 |

受講者人数は、初日が22人、2日目が50人、3日目が27人、4日目と5日目が30人であった(定員は各日50人)。

充実した内容だったと受講生に好評であった。高校教員の参加が多く、有効な広報活動の機会にもなった。

1.3) 紀要の継続的な刊行(大学・短期大学部)

教職課程再課程認定申請に係る教員の教育研究業績の確認が発端となり、実技系教員に活字業績を積ませることも念頭に置いた『上野学園教育研究紀要』を半年に1回のペースで刊行した。

『上野学園教育研究紀要』

第1号 平成30年3月30日発行

I 原著論文

- 教員のカウンセリングマインド—学校教育相談におけるカウンセリング的
対処の有効性— 石橋明佳
「特別の教科 道徳」の特質への期待—「考える道徳・議論する道徳」への転
換が求められる— 辻野具成
中学校段階の生徒指導ならびに進路指導が与える影響—保育に関する職場体
験の役割に注目して— 林直美

II 研究報告

- 自閉症児の言語コミュニケーションの上達—ある療育教室での事例を通して—
— 中山晶世
子供の発達における音楽と言語の関係性—乳児期から児童期まで—
— 星野悦子
総合的な学習の趣旨を生かした日本の伝統音楽の指導の有効性
—小学校における尺八の授業を通して— 山内雅子

III 教育実践報告

- 悩みや問題、障害のある音楽大学生の指導と支援 石橋明佳
The Effects on a Field Trip on University Students Studying English
—A Practical Report on the “Asakusa Trip” — 久世恭子
小学校低学年の児童への口唱歌を用いた長唄三味線の指導
—犬山こども長唄クラブの指導報告— 松浦奈々恵

第2号 平成30年12月12日発行

I 原著論文

- 中世末期における古代水力オルガン「ヒュドラウロス」の継承 上尾信也
セビリアのインドルスの楽器論—古代ローマから中世ヨーロッパへの分水
嶺なのか?— 上尾信也

II 研究報告

- 教員が活用できるアクティヴ・リスニング—日本の教育現場における有効性
と難点の解法— 石橋明佳

III 教育実践報告

- 独唱及び合唱における伝統的ベル・カント唱法の基礎原理によるアプローチ
—質問紙調査・観察調査を通して— 細谷美直 栗田恵美子

教科指導に生かす指揮者の楽曲分析―楽譜から何を読み取り、読み取った音楽的アイデアをどのように実際の演奏に結び付けるのか― 大河内雅彦

第3号 平成31年3月29日発行

I 原著論文

アリア歌唱中の脳波―感情表現との関連および歌唱指導への応用可能性―

藤田彩歌 田中昌司

II 研究報告

日本と西洋音楽の伝承方法における比較研究および音楽教育における「相対音感」の重要性についての一考察―日本の伝統芸能「能」の特別講座と体験ワークショップを通して（前編）―

高島亜生

III 教育実践報告

地域社会に貢献する音楽家を育成するピアノ実技指導を目指して―児童福祉施設におけるアウトリーチ・コンサート制作を例として― 大室晃子
教職課程における情報処理能力を向上させるための指導方法―質問紙調査による「情報処理演習Ⅰ」の分析を通して― 菊池由佳
調整感の指導の意義―シューベルトの調整感の指導報告― 藤井孝子
ピアノのダンパーペダルの教育についての一考察 山崎紫乃
大学におけるオペラ教育への提言―オペラへのファーストアプローチ―

吉田伸昭

1 4) 日本音楽史研究所の事業（大学）

貴重書を含む古典籍と楽器類について、国文学研究資料館への寄託を予定しており、古典籍蔵書目録の作成が急務となった。平成31年3月に、能楽部門（観世流謡本）と仏教音楽部門（声明史料）の一部を国文学研究資料館へ寄託した。平成31年度、令和2年度にも追加寄託する予定であり、国文学研究資料館が資料のデジタル化を行い、学術情報を発信することで、日本音楽史研究所の研究協力体制を強化していく。

草加校地に残されていた資料の一部は上野本校へ移動し、草加校地での作業をすべて終えた。移動した資料は、寄託作業が終わり次第、順次整理する。

通常業務については、下記のとおり。

①一般業務

- ・史料の収集・維持（保存・修繕・調整）
- ・史料調査・研究
- ・史料閲覧：蔵書整理のため一般の閲覧停止
- ・運営委員会（毎月開催）
- ・研究年報『日本音楽史研究』第9号 編集・執筆（寄託作業優先のため、編集作業を一時保留）

②架蔵史料等目録の編纂とそのデータベース化準備等の調査研究事業

- ・雅楽部門：407箱及び史料51点の簡易目録化済。
- ・仏教音楽部門：声明382箱及び史料5点の簡易目録化済。
- ・能楽部門：約1500箱の書誌調査・簡易目録原稿作成が終了。観世流謡本については『日本音楽史研究』第9号に掲載予定。

- ・近世部門：658箱及び史料12点の簡易目録化済。
- ・史料のデータ化：主にマイクロフィルムのデジタルデータ化。519本中148本終了。その他、文明十年版〔声明集〕(1冊)のデジタルデータ化が終了。

高久国際奨学財団助成事業(助成期間平成26～28年度)については、日本音楽史研究所が取り組む「調査研究」、「公開普及・教育」分野に関する下記事業について当該財団から助成・支援を得、一部事業を除いて終了した。平成30年度は日本音楽史料叢刊2の刊行及び3の執筆・編集に取り組んだ。

○調査研究事業

- ・『日本音楽史料叢刊2 日本の印刷楽譜——室町時代篇——』平成30年5月刊行。
- ・『日本音楽史料叢刊3 楽人補任総覧』編集・刊行(翻刻・図表資料は最終校正に入った。楽人略記等原稿の確認作業を進めている)
櫻井利佳講師が、科学研究費補助金事業 基盤研究C「琵琶師伝集『故琴教録』の総合的研究」研究代表者 スティーヴン・G・ネルソン法政大学教授(助成期間平成29年度～平成31年度)の研究分担者として従事する。

1 5) 音楽文化研究センターの実施事業(大学)

1. 高大連携事業

以下のとおり、上野学園中学・高等学校からの依頼を受け、マイケル・スペンサー客員教授による音楽ワークショップを行った。

■英語と音のワークショップ

日時：2018年5月2日(水)9:00～17:15、5月8日(水)9:00～16:00
主催：上野学園中学・高等学校(上野学園 石橋メモリアルホール)
対象：中学全学年、高校音楽クラス1、2年生

2. 受託事業

以下のとおり、文化施設や関係団体からの依頼を受け、受託事業を行った。

① マイケル・スペンサー客員教授による教育普及プログラム実施受託

■音楽家のためのファシリテーション講座

音楽ワークショップの体験を通じて、ワークショップの可能性や求められていることが何なのか、認識を深めつつ、ファシリテーションのスキルアップをはかる。

日時：2018年5月3日(木)10:00～16:00
主催：川崎市文化振興財団(ミューザ川崎シンフォニーホール)
対象：音楽家

■音のワークショップ

子どもたちが参加するワークショップ。テーマは「ペトルーシュカ」。

日時：2018年5月4日(金)10:00～16:00
主催：川崎市文化振興財団(ミューザ川崎シンフォニーホール)
対象：川崎市近隣在住の小学生

■教職員向け鑑賞、音楽づくり・創作ワークショップ

日時：2018年8月7日（火）10:00～16:00

主催：川崎市文化振興財団（ミュージアム川崎シンフォニーホール）

対象：教職員

■「夏のひみつ基地～シビックを遊びつくせ！！作曲家追体験ワークショップ～クラシック音楽を知って、つくって、好きになる～」

日時：2018年8月19日（日）13:00～17:00

主催：日立市民科学文化財団（日立シビックセンター）

対象：小学生

② 東京芸術劇場における教育普及プログラムの企画制作受託

東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）からの依頼を受け、同劇場が実施する人材育成事業「東京芸術劇場ウィンド・オーケストラ・アカデミー」のキャリアアップ・ゼミの企画制作を行った。年間ゼミテーマを「いいね！共感を育むアーティストになる」とし、全7回のゼミを実施した。詳細は下記の通り。

■オリエンテーション&第1回 職業としてのアーティスト——自活するために役立つ基礎知識

日時：2018年10月13日（土）18:00～21:00

講師：杉山幸代（上野学園大学音楽文化研究センター）

■第2回 アーティストとして活動していくために——自己管理、キャリア、セルフプロモーション

日時：2018年11月3日（土）16:30～19:30

講師：福川伸陽（NHK交響楽団首席ホルン奏者）

■第3・4回 プロジェクトをつくる・動かす——企画運営、広報、ファンドレイジング

日時：2016年11月11日（日）16:00～18:00/19:00～21:00

講師：菊川 穰（エル・システムジャパン）、山岸淳子（日本フィルハーモニー交響楽団）、廣安ゆきみ（Readyfor株式会社）

■第5回 プロジェクト・プレゼンテーション——第4回までの内容を踏まえながら、チャンレンジしたい企画を考え、仲間をつくる

日時：2018年12月23日（日）19:00～21:00

講師：杉山幸代（上野学園大学音楽文化研究センター）

■第6回 1年間の活動のまとめ

日時：2019年3月2日（土）13:00～16:00

講師：杉山幸代（上野学園大学音楽文化研究センター）

3. 協力事業

東京文化会館・東京都・アーツカウンシル東京より依頼を受け、東京文化会館が主催する「ミュージック・エデュケーション・プログラム国際連携企画」における広報協力を行った。

16) 就職支援：キャリア支援センター（大学・短期大学部）

① 就職支援の取り組み

一般企業への就職支援、低学年次からのキャリア意識の醸成、音楽能力を活かした進路へ

の支援等、前年度に引き続き、学生の職業選択の幅を広げるべく取り組んだ。学生の卒業後の動向については、局面に応じて職員・教員間で情報共有し、進路不明者の減少対策の充実施策を検討・実施をした。

② キャリアカウンセラーの配置と個別指導の徹底

キャリアカウンセラーによる個別面談（予約制）の他、就職活動・進路決定のうえで役立つ下記支援の実施を続けている。キャリア支援センター発足当初から継続して実施・振り返りなどを通じ、指導・支援内容の精度を高めている。

支援内容としては、「自己分析」、「適職相談」、「履歴書の書き方」（自己PR・学生生活で力を注いだことなどの書き方）、「企業・業界研究」、「インターンシップへの参加」、「応募書類添削」、「ビジネスマナー」、「面接対策」、「筆記試験対策」「就職情報の提供」「進学情報の提供」「内定後の相談」などである。

③ 低学年次学生対応

早期キャリア教育の重要性の再認識のもと、低学年次（就職活動をする学年以外）の学生が、より気軽にキャリアカウンセリングを受ける機会を促進するため、キャリアセンターの活動に関する告知・掲示等を前年度に引き続き積極的に行った。教員志望の学生には、学童保育指導員の短期アルバイトの紹介先をサーチし、希望進路に関連したアルバイトを紹介するなど前年度に続いて行った。

④ 各種進路に対応したガイダンスの実施

本年度は、学生の就職活動に臨む時機を前広に見据えて、内容・開催時間等の工夫のもと、ガイダンスを実施した。

全学生の授業がない、水曜日 6 駒目の時間帯を「キャリアの時間」と学生に向けて広報し、学生へ参加を促した。

実施したガイダンス・イベントは以下のとおである。

2020 年卒向け(全学年対象も含む)：「インターンシップ参加講座」「キャリアガイダンス」

「自衛隊音楽隊採用説明会」「音楽教室講師希望者向けガイダンス」「就活スタートアップガイダンス」「応募書類の書き方講座(全3回)」「一般常識・時事試験問題体験受験会」「SPI 試験体験受験会」「教員になる方法」「就活ヘアメイク講座」「業界研究・企業研究講座」「今後の自分と音楽の関わり方を考えてみる講座」「面接基礎講座」「面接実践講座」「3月直前！就活おさらい講座」

2019 年卒向け：「求人案内&相談会(6月・10月と2回開催)」

③ 音楽教室講師希望者支援

本年度は、これまで継続してきたことに加え、特に「音楽教室講師希望者のためのガイダンス」の実施要領について、前年度から継続して改善を行った。本年度よりカワイ音楽教室の応募方法がWEB上から変更となったため、カワイ音楽教室の担当者を招き、応募にあたっての変更事項や採用試験の対策方法、採用後などの待遇についても詳しく説明していただいた。また、前年度から同様に「応募用紙」を各種集め、それを分析することで、今日の音楽教室に必要とされる人材を明確化し、ガイダンスに活かすことで学生のモチベーション向上を図ることも行った。但し、本年度はピアノ科を中心に音楽教室講師希望者の受検申告が激減したこともあり、受検準備講座は開設しえなかった。

⑥ 教員希望者支援

本年度は、教職担当教員との連携を深め、私学教員・臨時任用・非常勤講師などの求人情

報を共有した。また、教職に興味のある学生全員を対象とした「教員になる方法」というガイダンスも実施した。

昨今は教職における採用面接でも、ストレス耐性や柔軟なコミュニケーション力が非常に重要視されるため、キャリア支援センターでの面接練習なども促進していった。

⑦ 提携企業とのインターンシップ実施要領を再構築

前年度に引き続き、音楽療法を積極的に取り入れているデイケア老人福祉施設・学童クラブ・児童館運営などの事業を行う企業2社と連携し、音楽療法および学習補助・介護補助を行うインターンシップを実施した。そのなかで、参加を希望する学生には、当該施設において、3～5日間程度のプログラムを体験することを想定し、インターンシップ参加にあたっての事前学習(ビジネスマナー・インターンシップにおける目標の設定等)も行った。そのうえで、インターンシップ期間中は、より深い学びへとつなげられるよう活動の記録を作成し、学生から受け入れ先の職員への提出を課すこと、ならびにインターンシップ終了後は事後学習を実施し、その後の進路選択に活かすことができるようプログラムを組み直した。

⑧ 求人情報の収集

毎年実施されている日本学生支援機構全国キャリアガイダンスにおける企業との交流会、日本生命相互会社における大学就職支援担当者との会合などにも赴き、求人情報を得るよう努めた。これらにより獲得した求人票は計10社ほどである。

<中学・高校の事業>

1) 広報活動の強化

① 生徒募集活動の実施

前年度に引き続き募集推進会議を開催、学校説明会や進学相談会開催前に実施内容の指示や確認を行った。16回の学校説明会、2回のオープンスクール及び入試体験、40回の外部における進学相談会を実施。学校説明会では、各回にテーマを設定、「ひとり一つの楽器」体験や国立科学博物館見学、授業体験、昼食体験等多くの体験を通じた実践的説明会とした。

特に中学校では、2020年の大学入試改革を鑑み、今日の子供たちが将来求められる力、上野学園中学校でアクティブ・ラーニングを実施する理由について、本中学で行っている様々な取り組み事例と合わせて紹介を行った。特に極力毎回生徒の姿を見せるように工夫し、在校生・卒業生のありのままの姿をお見せした。また、中学入試では、入試日程、科目の大幅な変更をおこなった。得意科目2科(1科)選択型を導入したことで、受験生達が自分の得意分野を生かした試験に積極的に出願してくれた。英語入試も初めての導入となり、受験生は2名ではあったが、英検3級、英検2級をすでに持っている能力の高い生徒が受験してくれた。併願受験生の歩留まり率をあげるため、入試当日も保護者対象に学校説明をおこない、上野学園の魅力を伝えた。

その他、中高生徒から有志を募り、「上野学園コンシェルジュ」を組織、学校説明会時の受付、施設案内、個別相談など生徒達が主体となって、説明会の運営に関わる場を作った。受験生と等身大の本校生徒達と関わる機会を設けることで、受験生とその保護者の持つ入試への不安等を和らげることができた。アンケート結果からも、「上野学園コンシェルジュ」の存在が受験へと導いた例が数多くあり、その成果があったことがわかった。この組織に参加することは、本校生徒にとっても教育上大変良い影響を生んでいる、という実感を得た。

夏休みに開催したオープンスクールでは、授業体験や部活体験を行い本校の雰囲気が実体験

できる機会とした。また教職員は、説明会前に必ずリハーサルを行い、保護者・受験生にわかりやすく、明確に伝わる説明になっているかをチェックした。説明会終了後は、すぐに反省会を行い、そこで出された良かった点、悪かった点を精査した上、次の説明会に反映した。

アンケート結果から、中学で実施した学校説明会に対する参加者の満足度は非常に高いことがわかった。実出願者数は84名と昨年より減少したが、入学手続き率は昨年よりも高く、入学者は前年度と同数の32名となった。

高校については、出願者数が514名となり、初の500名台の出願をいただいた。入学者は前年度比12名増加し、207名という好結果であった。特に普通科は前年度比18名の増加となり、定員数より多くの入学を迎えることができた。

② 塾訪問・学校訪問の強化

本年度は、4名の教諭を塾訪問担当とし、時間割を調整し週1回の定期訪問を行った。重点地域を含む各塾に年2〜3回の訪問を実施したことで、塾の先生方に本校の存在、取り組みを直接紹介・説明する良い機会であった。

また、塾及びV模試、W模試への会場貸し出しや、本校での塾別学校説明会の実施を複数回おこなうことで本校の教育の取り組みを理解いただき、多くの出願に繋がった。

他の中高の先生から、それぞれの塾で中心となっている人物の紹介を受けた上で、各塾の本部へ説明訪問に伺ったことも本校の認知度を高める大きな原動力となった。すなわち、本校の取り組みや活動について理解を得られたことに加え、率直なアドバイスを受けることで、今後に向けた課題や重点目標が明確となった。

③ 中学校 適性検査型入試（S日程）試験の内容変更

本中学校受験者数を増やすことを目的とし、同じ台東区内にある白鷗高等学校附属中学校の入試問題を分析・研究した。また、昨年度入試から、白鷗中学校が適性Ⅲの導入をおこなったため、本校の適性検査も適性Ⅲを加えた形でおこなった。受験生は64名となり、入学手続きに至った生徒は1名であった。

出願数を増やして行くことはもちろんのことではあるが、受験生に学校の取り組みを認知してもらおうこと、入試前に学校に足を運んでもらおうことが、今後の課題と考える。

④ 中学音楽専門、高等学校音楽科生徒募集の実施

- ・高校音楽科へ入学をした生徒の卒業中学に対し、御礼と共に入学後の生徒の様子を報告し、併せて、今後の生徒依頼を行った。

- ・中学音楽コースのより徹底した周知を図るため、学校説明会及び個別相談窓口において、音楽コース入学希望者に対し、本校の学びやその体制、環境等をより具体的かつわかりやすく説明するようにした。

- ・高校音楽科説明会では、説明会に公開レッスンを取り入れ、入学後の音楽教育環境がより伝わる工夫を行った。またミニ講座は、受験生と一緒に本校の高校生も受講する形を取り、趣向を凝らした。

- ・中高音楽科が主催する様々な演奏会について、来校履歴のある受験生や、資料請求者、これまでに生徒を入れて頂いた外部指導者へご招待案内書を送付した。演奏会当日は、ホールホワイエに受験相談ブースを設け、来校者への細やかな対応を図った。楽器直営店の音楽教室の生徒に対し、本校の教員がレッスン依頼を受け、出張レッスンの実施や、音楽教室の生徒、指導者を迎えミュージックフェスティバルを楽器店と共催し、ホール体験や、新たに公開授業を開講し、上野学園での音楽の学びを体験頂き、音楽教室運営の方々、指導者、保護者、そして生

徒との関係強化につながった。

・本校卒業生に対しては、広報物の大型発送、公開講座の聴講開放（6月）により、来校の機会を設け、現在の音楽科の取り組みと、それによって培われた生徒の様子を見る事により、改めて母校の魅力を理解し、発信する一員となるよう、一昨年に引き続きコミュニケーションを図った。

・ホームページのブログ更新もこれまで以上に頻度を上げ行い、音楽科生徒の学びの様子を積極的に発信した。体験レッスンの受け入れ強化を図るため、ホームページから申請が可能な環境が構築。

近年、生徒は自身の専門実技の学びと共に、創作活動について興味を持つ傾向が見られるため、演奏研究授業のオペレッタ創作の充実を図り、この特徴的な授業を上野学園の魅力の一つとして説明会や個別相談にて取り上げ説明した。また生徒の作曲への好奇心に応えるべく、作曲を専門とする教員に授業外での対応をお願いし、更なる音楽の興味を湧かし、知識を深める事に繋げている。また、保護者に対しては、生徒が出演する演奏会をこれまでは記録映像として撮影保存をしていたが、法人企画運営室の協力を得て、出演した生徒へDVDとして提供を始めた。この取組みは生徒が自身の演奏映像を見て振り返り事が出来ることと共に、保護者が自身の子供の成長過程を記録として残す要望に応じている。更に、一貫校だからこそ出来る、大学教員によるパイプオルガンの演奏とその構造を知るオルガン講座の開催など、本校の魅力を十分に発信している。

2) 学力レベル向上への取組み

入学定員の厳格化や入試改革にともない、中堅以上の大学合格が近年では一番の厳しさを見せる中、GMARCH合格者を一定数輩出できたことは、教科チームの連携と努力の成果であると言える。全体的に（中・高特進・高総進）見ても、昨年よりもさらに学力レベルは向上したと考えられる。定期的な模試分析（個別成績分析）と個人面談、全国入試問題の研究などは各授業へ還元され、特に、成績データ分析から抽出したひとりひとりの生徒の到達度は、各授業担当の授業構成に影響し、抜け漏れズレを確実に克服しながらの内容編成となった。外部講座の英語、数学、国語も例年通りの設定となったが、担当講師との毎週の打合せや講座内容報告にも、個別の生徒到達度が活かされ、より効果的な指導が構築された。

新入試対策としては、高3以外の学年において、7限講習時間も含めた上で、思考力や表現力を育む探究授業を再構築した。学習へ前向きに、興味関心が研究意欲へ繋がるよう、校内においては勉強と向き合える機会や環境を教務部と連携しながら、さらに整えなおしている途中である。

① 放課後講座の実施（学内教員担当）

昨年度に引き続き、中学2、3年、高1特進、高2特進、高3では、学内教員による放課後講座を実施し、基礎力や応用力の向上を図った。中学では英語・数学を中心に基礎力を固め、高校では特進クラスαβ別に英語・数学・国語の講座を実施し、現状の実力に合わせた基礎力育成から受験に必要な応用力の育成までを含めたきめ細かな指導を行った。

② 中高全学年対象講習の実施

中学、高校ともに夏期および冬期講習を実施した。夏期講習ではⅠ～Ⅲ期に分け、それぞれ目的に合った様々な講座を実施した。新規取り組みとしてSTEAM教育に連動したサマースクールを進路指導部教員がコアとなり実施。全教員が指導にあたった。その他としては、授業の復

習講座や受験実力講座、特別講座としての探求型フィールドワークも開催した。

③ 高1、高2の特進コース対象勉強合宿の実施（継続）

高校生は、8月初旬に3泊4日で合宿を行い、講習と自習時間を合わせ1日12時間以上の学習を課し、難関大学合格のために必要な自学自習の重要性を体験した。また勉強方法や意欲を上級生が下級生に直接伝える機会も設け、様々な観点で勉強に向き合う環境を設定した。

④ 各種検定の実施（継続）

目標を達成することの満足感や学習への動機を高めるため、検定合格に向けた指導の充実を図り、多くの検定に生徒を挑戦させた。（例：英語検定、漢字検定、数学検定、硬筆・毛筆書写技能検定、ニュース検定等）

⑤ 自学自習の構築

生徒が「SAKURA手帳」を活用し、自らスケジューリングやタスク管理を行っている。定期考査については、各教室・廊下の掲示を使い、2週間前からカウントダウン方式で考査日までの日数を表示、生徒自身が勉強の計画を立てた。生徒の自習場所として、考査2週間前からは4階フロア全体を自習スペースとして開放した。進路指導部の教員は、その補助的役割として毎日20時まで自習監督、相談要員としてサポートを行った。また「Classi」自学支援オンラインツールの活用も深まり、未習範囲や取りこぼした範囲もいつでも映像やWEB問題で振り返られるようになった。アダプティブな学習とその支援体制がICTツールによって構築された。

[宿泊研修]

| 実施日 | 演奏会 | 行き先 |
|------------------|-----------------|--------|
| 4月12日（木）～19日（木） | 高2・3音楽科ウィーン研修 | オーストリア |
| 4月27日（金）～28日（土） | 中1オリエンテーション合宿 | 河口湖方面 |
| 8月1日（水）～4日（土） | 高1・2特進対象勉強学宿 | 茨城県守谷 |
| 8月20日（月）～22日（水） | 中2ブリテッシュヒルズ語学研修 | 福島 |
| 8月21日（火）～23日（木） | 中3イングリッシュキャンプ | 茨城県守谷 |
| 11月7日（水）～10日（土） | 中3修学旅行 | 奈良・京都 |
| 11月15日（木）～10日（日） | 高2普通科修学旅行 | 沖縄 |

3) 教員の指導力強化

本年度は、教員全体研修の一環とし、校内研究授業を行った。英語科と保健体育科がそれぞれのテーマを設定し、中高生がその授業に参加、教壇に立つ教員を除き全ての教員が授業を参観、その後意見交換を行った。

また、勤続2年未満の教員を対象とした新任教員研修として、当該教員の授業を公開した。授業には、それぞれ約10名の教員が参観し、授業後に各教科会議で評価される点や改善点等の意見交換を行い、新任教員が効果的に経験を積み、能力を向上できる機会を作った。

教員の指導力強化に当たっては、私立中高協会や私学財団、塾等の外部機関が主催する研修やセミナー、研究会等への積極的な参加を促進しており、多くの教員が実際に自身の能力向上に資すると考える研修等に参加した。研修等に参加した教員は、その内容を、職員会議で発表し、他の教員と情報共有を行った。

さらに、「探究科」を設置し、中学におけるフィールドワーク、卒業研究、高校における探究学習について研究、実践を行った。中学3年生による卒業研究の発表は、協力いただいた地域のNPOの方や保護者にもご覧いただき、社会における諸課題に対し、課題解決学習を行った成果を評価していただいた。疑問から仮説をたて、調査・検証を行い、レポートとしてまとめ、プレゼンテーションを行い評価されるという、一連の探究サイクルに従い、チームで課題解決に取り組む姿は大変好評を得た。

こうした、教員の指導力強化、探究学習の研究・実践と並行し、授業環境の改善も昨年度同様、継続して行った。具体的には、中学1年～高1まで、一人1台iPadを所有し、授業で活用できる体制を整えた。また、6階・9階の各教室のプロジェクターを新型の機種に入れ替える工事をを行い、iPadを用いた授業の効率化を実現した。今後2年間で全フロアのプロジェクター入替を実施する。

4) 生活指導の充実

本年度は生活指導の充実を図るため、あいさつの強化、情報モラルの育成、委員会活動の活発化、クラブ活動の活発化を目標とし、以下のように生徒指導に取り組んだ。

まず、あいさつの強化では、年間を通じてあいさつ運動を実施した。あいさつ運動では、生活委員会の生徒を中心とし、生徒が主体的に活動できる新たな指導体制を整えることができた。今後は、さらに生徒が主体的に活動できる指導を目指す必要がある。

次に、情報モラルの育成では、4月に保護者対象のネットモラル講演会を実施した。昨今、この情報モラルは生徒指導部だけではなく、全教科での指導が求められており、学校全体で指導に取り組む必要がある。特に、生徒のIpad利用は規制するのではなく、学びのツールとして利用を考えることが必要であり、生徒が考えて利用する土壌が必要である。

また、委員会活動の活発化では、生徒が積極的に参加できるような仕組み作りや、生徒が主体的に活動し、そこで得た達成感を充足させる機会を増やすための取り組みを行った。今後は委員会活動を活発化させるために、生徒指導部（生徒会係）の枠を越えて学校全体で指導に取り組む必要がある。

さらに、クラブ活動の活発化では、外部指導員の動員により、それぞれのクラブで活躍が目立った。今後も外部指導員の協力のもと、一人でも多くの生徒が達成感を得られるよう、練習環境を充実させる必要がある。

[生徒会行事]

| 実施日 | 演奏会 | 対象 |
|----------|----------------|--------|
| 4月10日(火) | 新入生オリエンテーション | 新中1・高1 |
| 5月16日(水) | 生徒会役員選挙立ち合い演説会 | 全校生徒 |
| 9月22日(土) | 桜鏡祭 | 全校生徒 |
| 9月23日(日) | | |
| 2月27日(水) | 高校予餞会 | 高校3年生 |
| 3月16日(土) | 中学予餞会 | 中学生 |

5) 生徒の健康と安全

去年度に引き続き、校内の救急体制の整備のため、下記取り組みを行った。

- ① 食物アレルギーの知識の普及・研修会の実施

4月の職員会議で食物アレルギーのある生徒一覧情報を共有。

食物アレルギーの緊急時の対応を実施した。

② 教職員、生徒対象救命救急講習会の実施

教職員対象の普通救命講習会を実施した。また、生徒対象には普通救命講習1回、上級救命講習1回を実施した。

平成29年9月には教職員、生徒が積極的に救命講習を受講し、応急救護技術の普及啓発に貢献したとことで東京消防庁上野消防署より感謝状をいただいた。

③ 中3・高2対象HIV講習会の実施～命の大切さを学ぶ～

台東保健所の「HIV予防啓発事業」を活用し、中3・高2対象に外部講師によるHIV講習会を開催した。

6) 中学校音楽専門、および高等学校音楽科生徒によるコンサート

本年度に実施した中学校音楽専門、高等学校音楽科生徒出演の主な演奏会は下記の通り。

[平成30年度 中学校音楽専門、音楽コース・高等学校音楽科生徒による主なコンサート]

| 実施日 | 演奏会 | 会場 |
|----------------------|---------------------------------|----------|
| 5月12日(土) | 中二・高二演奏会 | 上野学園 講堂 |
| 6月30日(土) | 高等学校音楽科 植田克己先生のピアノ公開レッスン | 上野学園 講堂 |
| 7月10日(火) | 演奏家コース室内楽前期発表会 | 第1リハーサル室 |
| 8月29日(水) | スガナミミュージックフェスティバル ウェルカムコンサート | 上野学園 講堂 |
| 9月22日(土) 9月23日(日) | 桜鏡祭演奏会 | 上野学園 講堂 |
| 11月17日(土) | 中高総合演奏会 | 上野学園 講堂 |
| 12月1日(土) | 高3音A組 演奏研究発表会 | アンサンブル室 |
| 2月16日(土) | 高校卒業演奏会 | 上野学園 講堂 |
| 2月27日(水) | マティアス・キルシュネライト先生のピアノ公開レッスン | エオリアンホール |
| 3月12日(火) | 演奏家コース室内楽後期発表会 | 第1リハーサル室 |
| 3月14日(木) | 中学卒業演奏会 | 上野学園 講堂 |